

自動検定装置における器差算出方法

●器差算出方法（計測したデータから器差を計算する）

- T_0 :ゲート時間(ゲート開から閉までの時間)
- T_1 :計測 時間(ゲート開直後のパルスからゲート閉直後のパルスまでの時間)
- N :計測時間内の被試験メーターから得られたパイロット信号のパルス数
- $V_{0(L)}$:計測体積 (計測する体積)
- $K_{0(P/L)}$:器種パルス (被試験メーターと同型の理想メーターのの1L当たりの基準パルス数) 例: 86.667パルス

(I)パルス内挿法により被試験メーターの実器種パルスを計算する。

(1)流した流体の体積 $V_{(L)}$ の算出

$$V_{(L)} = V_{0(L)} \times \frac{T_1}{T_0} \quad \text{----- (1)}$$

(2)被試験メーターを通過する流体の単位体積当たりのパルス数 $K_{(P/L)}$ を求める。

$$K_{(P/L)} = \frac{N}{V_{(L)}} \quad \text{----- (2)}$$

(II)被試験メーターの器差(%)算出

$$\text{器差(\%)} = \frac{K_{(P/L)} - K_{0(P/L)}}{K_{0(P/L)}} \times 100 \quad \text{----- (3)}$$

